

# MINATO OPINION

ミ ナ ト オ ピ ニ オ ン

## 【調査の概要】

### ■調査設計等

【調査対象】 港区在住の満20歳以上の男女個人（外国人を含む）

【標本数】 2,000標本

【標本抽出】 住民基本台帳からの無作為抽出

【調査方法】 郵送法

【調査期間】 平成25年11月27日（水）～12月13日（金）

【有効回収数】 653標本

【有効回収率】 32.7%

### ■調査項目

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| (1) 定住意向     | (6) 栄養と食生活        |
| (2) 区政全般     | (7) 災害に強い街づくり     |
| (3) 区基本計画    | (8) 生活安全          |
| (4) 区の協働の推進  | (9) スポーツ          |
| (5) 健康づくりの推進 | (10) 第68回国民体育大会開催 |

※本文中の「百分率」は小数第2位を四捨五入しているため、または複数回答のため、数値が100にならない場合があります。

港区では、区民の皆さんの区政に対する意向や生活意識などを把握するために、昭和 51 年から世論調査を実施しています。平成 9 年までは毎年、それ以降は隔年で実施し、今回で第 29 回となりました。

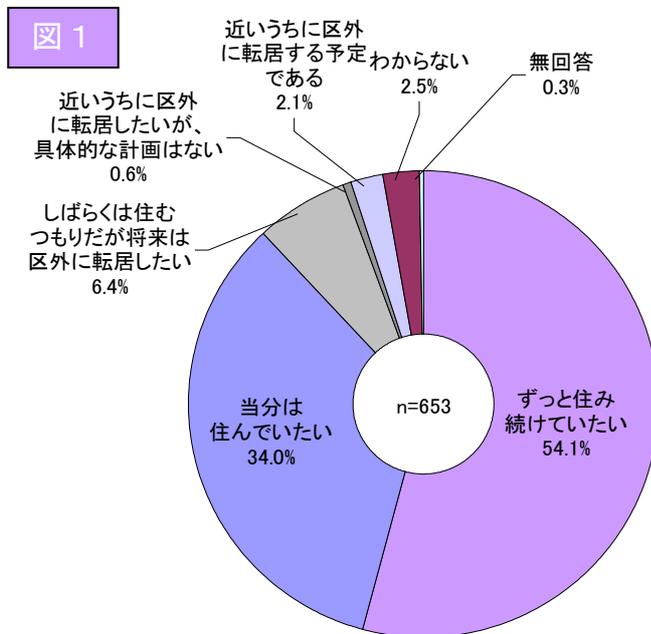
今回の調査では、区内在住の外国人を含む 2,000 人の皆さんにご協力をお願いし、653 人の方から回答をいただきました。調査結果は今後の区政運営に活用させていただきます。

# 1 定住意向

これからも港区に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けていたい」(54.1%)が5割半ばで最も高く、これに「当分は住んでいたい」(34.0%)を合わせた『定住意向』(88.1%)は9割近くとなっています。

一方、「しばらくは住むつもりだが将来は区外に転居したい」(6.4%)と「近いうちに区外に転居したいが、具体的な計画はない」(0.6%)と「近いうちに区外に転居する予定である」(2.1%)を合わせた『転出意向』(9.1%)は1割未満となっています。

(図1)

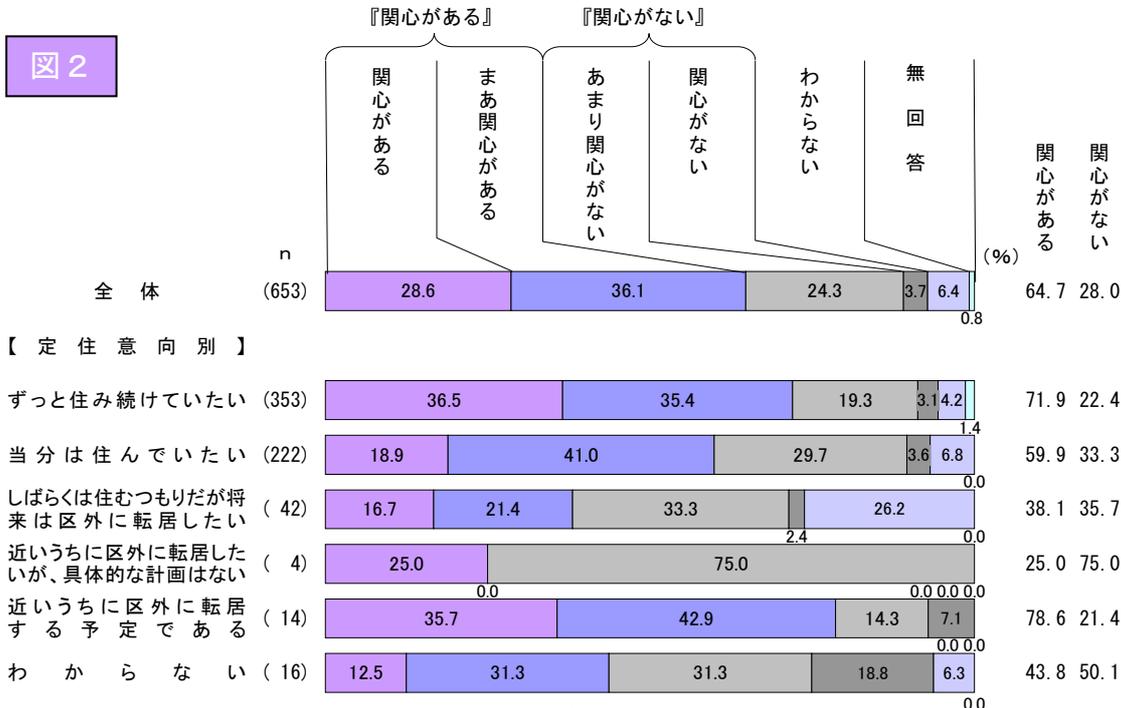


# 2 区政全般

港区政に関心があるか聞いたところ、「まあ関心がある」(36.1%)が3割半ばで最も高く、これに「関心がある」(28.6%)を合わせた『関心がある』(64.7%)は6割半ばとなっています。

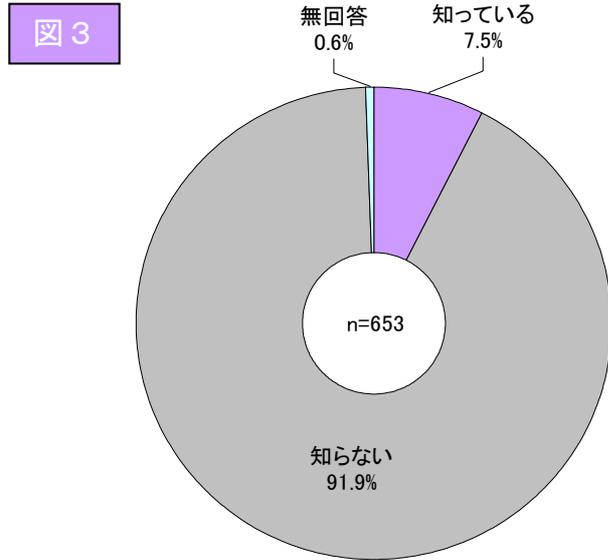
一方、「あまり関心がない」(24.3%)と「関心がない」(3.7%)を合わせた『関心がない』(28.0%)は3割近くとなっています。

定住意向別でみると、『関心がある』はおおむね定住意向が強くなるほど割合が高く、「ずっと住み続けていたい」(71.9%)とと思っている人では7割を超えています。(図2)



### 3 区基本計画

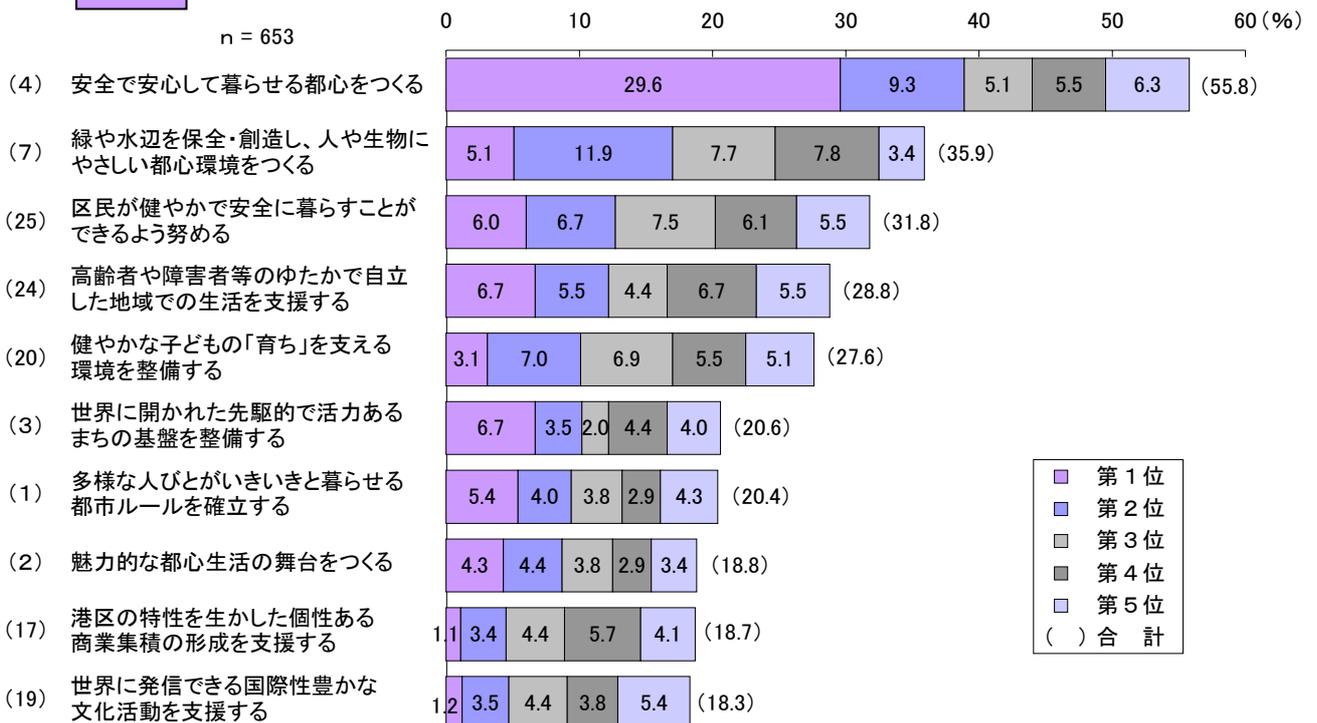
平成 26 年度に新たな港区基本計画が策定されることを知っているか聞いたところ、「知っている」(7.5%) は 1 割未満、「知らない」(91.9%) が 9 割を超えています。(図 3)



区が特に重点的に取り組むべき政策として、第 1 位にあげられた政策をみると、「安全で安心して暮らせる都心をつくる」(29.6%) が 3 割で最も高く、次いで「高齢者や障害者等のゆたかで自立した地域での生活を支援する」と「世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する」(ともに 6.7%)、「区民が健やかで安全に暮らすことができるよう努める」(6.0%) などと続いています。

また、第 1 位から第 5 位までを合わせた合計でみると、「安全で安心して暮らせる都心をつくる」(55.8%) が 5 割半ばで最も高く、次いで「緑や水辺を保全・創造し、人や生物にやさしい都心環境をつくる」(35.9%)、「区民が健やかで安全に暮らすことができるよう努める」(31.8%)、「高齢者や障害者等のゆたかで自立した地域での生活を支援する」(28.8%) などと続いています。(図 4)

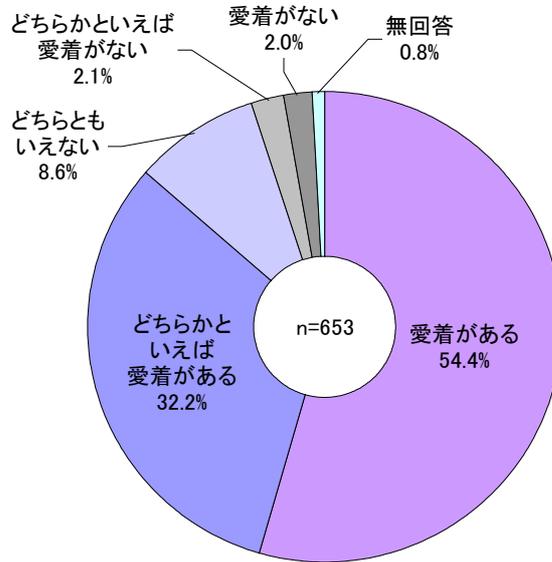
図 4



## 4 区の協働の推進

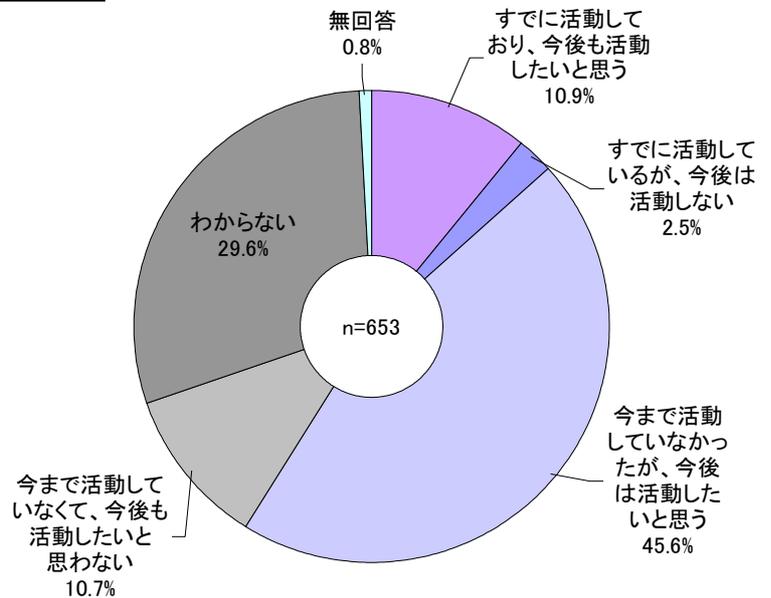
自分の住んでいる地域に愛着があるか聞いたところ、「愛着がある」(54.4%)が5割半ばで最も高く、これに「どちらかといえば愛着がある」(32.2%)を合わせた『愛着がある』(86.6%)は9割近くとなっています。一方、「どちらかといえば愛着がない」(2.1%)と「愛着がない」(2.0%)を合わせた『愛着がない』(4.1%)はわずかとなっています。(図5)

図5



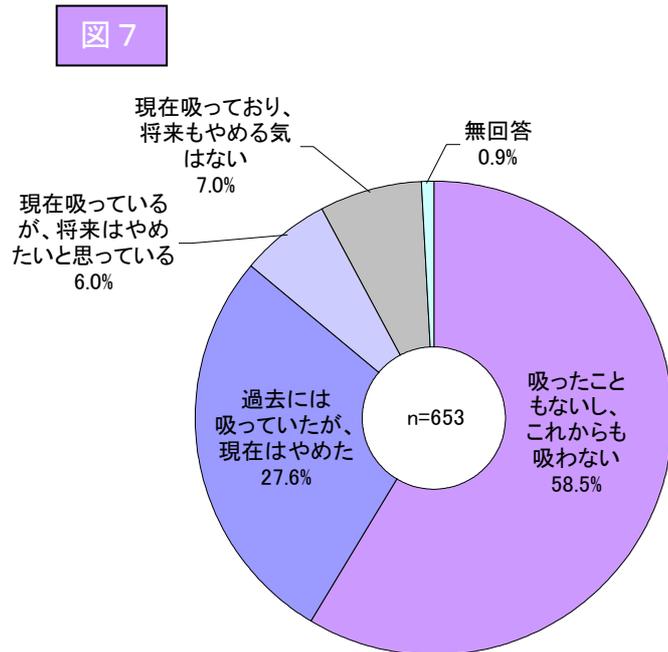
今後、地域社会に役立つ活動をしたと思うか聞いたところ、「今まで活動していなかったが、今後は活動したいと思う」(45.6%)が4割半ばで最も高くなっています。「すでに活動しており、今後も活動したいと思う」(10.9%)と「今まで活動していなくて、今後も活動したいと思わない」(10.7%)が約1割、「すでに活動しているが、今後は活動しない」(2.5%)はわずかとなっています。(図6)

図6



## 5 健康づくりの推進

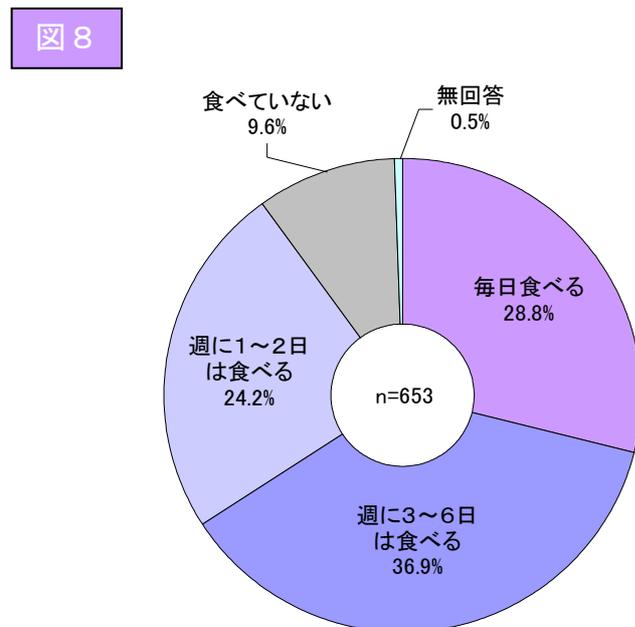
たばこを吸っているか聞いたところ、「吸ったこともないし、これからも吸わない」(58.5%)が6割近くで最も高くなっています。「過去には吸っていたが、現在はやめた」(27.6%)が3割近く、「現在吸っており、将来もやめる気はない」(7.0%)と「現在吸っているが、将来はやめたいと思っている」(6.0%)は1割未満となっています。(図7)



## 6 栄養と食生活

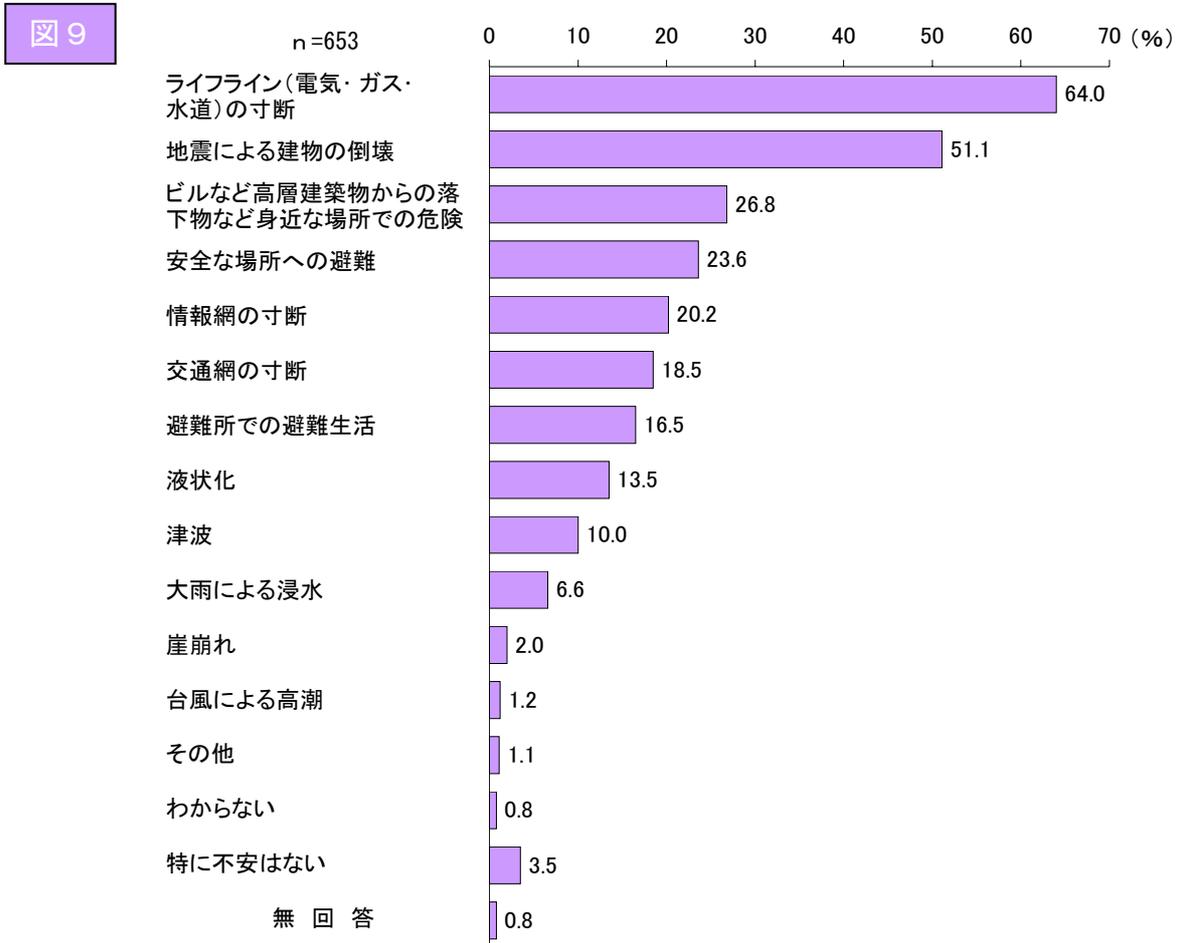
野菜を1日350g程度食べているか聞いたところ、「週に3～6日は食べる」(36.9%)が4割近くで最も高く、次いで「毎日食べる」(28.8%)、「週に1～2日は食べる」(24.2%)となっています。

一方、「食べていない」(9.6%)は1割となっています。(図8)

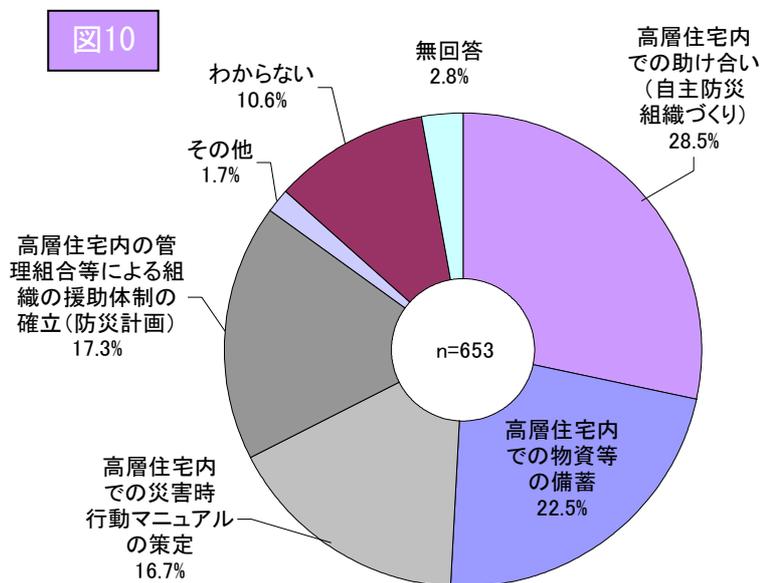


# 7 災害に強い街づくり

住まいの地域で、自然災害についてどのような不安を感じるか聞いたところ、「ライフライン（電気・ガス・水道）の寸断」（64.0%）が6割半ばで最も高く、次いで「地震による建物の倒壊」（51.1%）、「ビルなど高層建築物からの落下物など身近な場所での危険」（26.8%）、「安全な場所への避難」（23.6%）などと続いています。（図9）

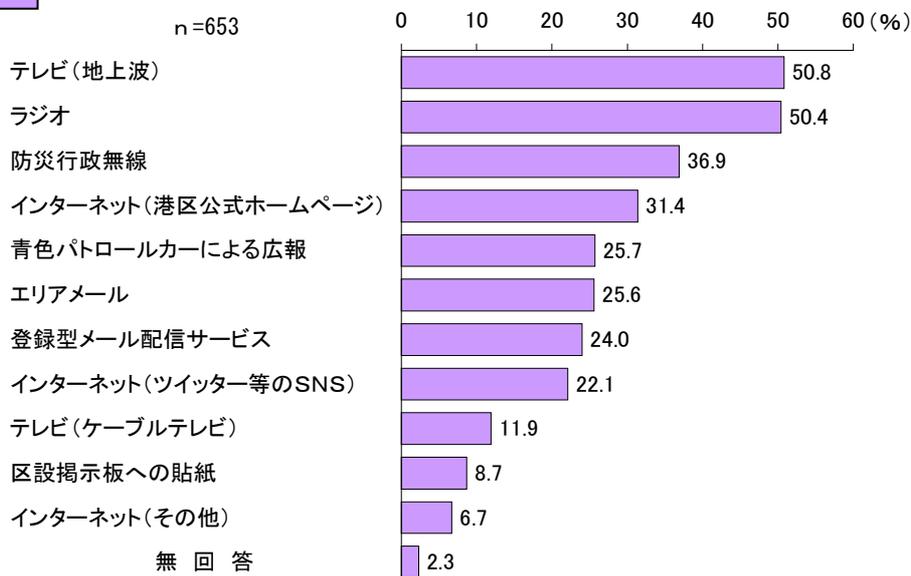


高層住宅ごとの防災対策として、最も重要なことを聞いたところ、「高層住宅内での助け合い（自主防災組織づくり）」（28.5%）が3割近くで最も高くなっています。「高層住宅内での物資等の備蓄」（22.5%）は2割を超え、「高層住宅内の管理組合等による組織の援助体制の確立（防災計画）」（17.3%）と「高層住宅内での災害時行動マニュアルの策定」（16.7%）は2割近くとなっています。（図10）



災害発生時の情報収集手段として、どの方法が有効だと思うか聞いたところ、「テレビ（地上波）」（50.8%）と「ラジオ」（50.4%）がともに約5割で高く、次いで「防災行政無線」（36.9%）、「インターネット（港区公式ホームページ）」（31.4%）などと続いています。（図11）

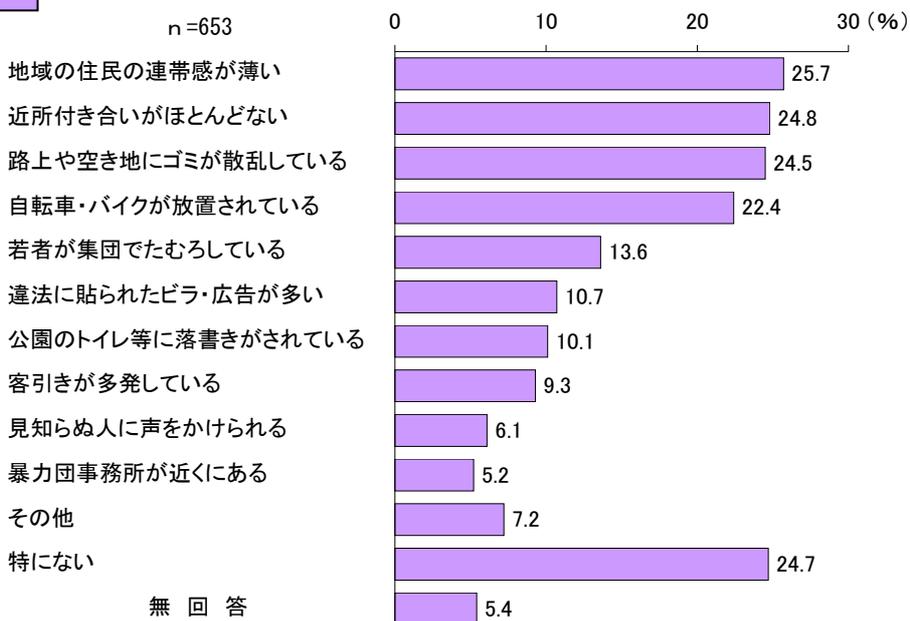
図11



## 8 生活安全

普段、自分自身を脅かすのではないかと不安を感じることはあるか聞いたところ、「地域の住民の連帯感が薄い」（25.7%）、「近所付き合いがほとんどない」（24.8%）、「路上や空き地にゴミが散乱している」（24.5%）がいずれも2割半ばで高く、次いで「自転車・バイクが放置されている」（22.4%）などと続いています。一方、「特にない」（24.7%）は2割半ばとなっています。（図12）

図12

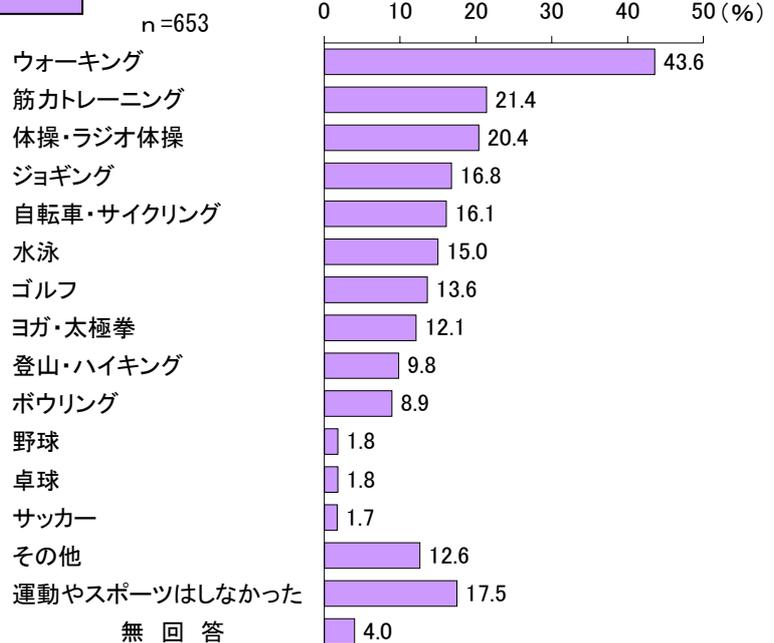


## 9 スポーツ

1年間で行った運動やスポーツを聞いたところ、「ウォーキング」(43.6%)が4割を超えて最も高く、次いで「筋力トレーニング」(21.4%)、「体操・ラジオ体操」(20.4%)、「ジョギング」(16.8%)などと続いています。

一方、「運動やスポーツはしなかった」(17.5%)は2割近くとなっています。(図13)

図13

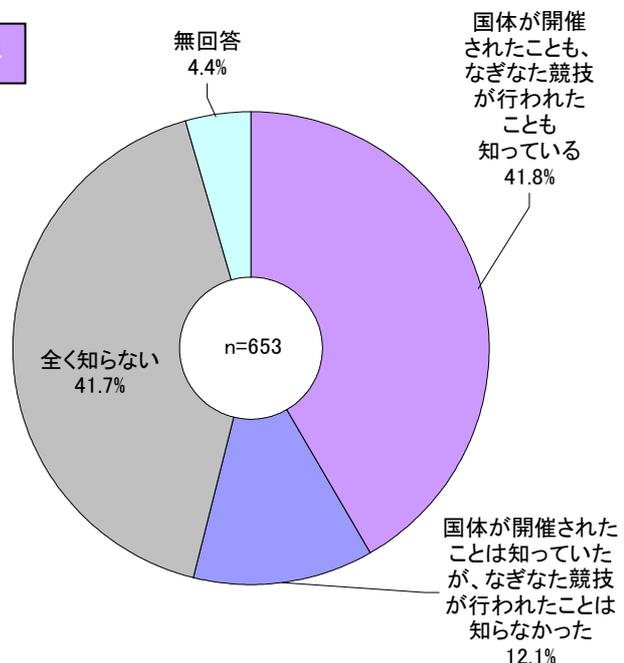


## 10 第68回国民体育大会開催

東京で国民体育大会が開催され、港区ではなぎなた競技が実施されたことを知っているか聞いたところ、「国体が開催されたことも、なぎなた競技が行われたことも知っている」(41.8%)が4割を超え、「国体が開催されたことは知っていたが、なぎなた競技が行われたことは知らなかった」(12.1%)が1割を超えています。

一方、「全く知らない」(41.7%)は4割を超えています。(図14)

図14



港区の世論 Vo1. 22 (第29回港区民世論調査報告書概要版)  
平成26年(2014年)3月発行

【編集・発行】

港区企画経営部 区長室  
港区芝公園1-5-25  
電話 03(3578)2111(代表)  
刊行物発行番号 25199-5861